

2 years ▶ 3 years

◆ 県立宝飾美術専門学校が3年制に移行

即戦力となるスペシャリストを育成



◆ 充実した学生生活 ジュエリーの未来を支える日を夢見て



刺激し合える仲間にも囲まれて

実家が宝飾品の卸売業のため、いずれ跡を継ぐと思うのですが、まずは企業の営業職で経験を積み、いつかブランドを立ち上げたいと思っています。この学校には真剣に宝飾業界を目指す志の高い人が集まっています。先生方も業界の先輩なので、悩みを相談できますし、将来に向けた前向きなアドバイスをしてくださり心強いです。

三枝和真さん



習った技術で作品にも挑戦

入学から4カ月ですが、すでにキャスト技術や水晶研磨、ものづくりへの一歩を踏み出しました。これからもっと高度な技術を習得できると楽しく楽しみです。放課後も先生方が残って指導して下さいますし、部活動では授業で習った技術に応用した作品作りができる環境があるので、たくさんの方に挑戦し、一つ一つの技術を自分のものにしたいと思います。

島津 樹さん



充実した授業と丁寧な指導

オープンスクールに参加したとき学校の雰囲気や先生方も丁寧な指導をいただいたことから、ここなら成長できると思い入学を決めました。デザイナー志望ですが、貴金属加工の授業も楽しく、自ら制作をするようになってからデザインの方向性も変わってきました。先生方は第一線で活躍する方ばかりなので、全てを吸収しようと頑張っています。

内藤香乃さん

ジュエリーについて学べる日本で唯一の公立専門学校「山梨県立宝飾美術専門学校」は、来年4月に2年制から3年制に移行します。これにより、専門性の高いカリキュラムを導入し、業界と連携した実習を充実させ、即戦力となるスペシャリストの育成を目指します。

時代と業界が求める スペシャリストの育成を目指します



山梨県立宝石美術専門学校
仲 剛司 教授

3年制移行の狙いは？

本校の使命は、県内の宝飾業界に実践的かつ専門的な技術や知識を持つ人材を送り出すことです。近年、業界からは、さらに高度な技能を持つ人材を望む声が高まり、この要請に応えるため修業年限を3年とし、充実したカリキュラムを展開します。

新しいカリキュラムの特徴は？

最大の特徴は、専門的能力の養成です。2年間でジュエリー全般に関する知識と技能の基礎を修得し、3年目は、ビジネス、デザイン、プロダクトの三つの専門分野から、一つを選択してその分野を究めます。

具体的にどんな授業になりますか？

ビジネス分野では、グローバル化に対応するため、輸出入の知識や語学の修得、海外研修を計画しています。

デザイン分野では、業界ニーズに沿ったデザイン手法を学ぶとともに、近年不可欠になっているCAD(コンピューターによる設計)システムを使いこなせる技術を修得させようと考えています。プロダクト分野では、企業と連携してビジネスシーンを想定した課題を設定し、いかに早く精度の高い商品を作れるかに挑戦するなど実践的なカリキュラムを計画しています。

いずれの授業でも3Dプリンターやレーザー溶接機など最新の機器を使用し、質の高い学習を目指します。

ジュエリー産地という土地柄を生かしたカリキュラムもありますか？

地元企業との密接な連携は本校の特色であり強みです。企業でのインターンシップを2年次に必修化し、3年次の専門分野選択につなげることを考えています。

学生にとって他にメリットは？

1学年の定員を現在の50名から35名に絞るので、親身できめ細やかな技術指導が受けられます。また、ジュエリーコーディネーターや技能士など各種資格の取得や、技能五輪へのチャレンジも支援していきます。

山梨県立宝石美術専門学校
甲府市丸の内1-16-20 ココリ 7・8階



入学生募集

■受験資格/高等学校を卒業した者
(平成27年3月卒業見込みの者を含む)

■推薦入学試験

出願期間/9月24日(水)~10月15日(水)

試験日/10月25日(土)

試験内容/面接

■一般入学試験

出願期間/10月16日(木)~11月5日(水)

試験日/11月15日(土)

試験内容/小論文、面接

【問い合わせ先】

TEL 055-232-6671 FAX 055-233-6357

山梨 宝石美術

検索

地元で活躍する卒業生

宝美で学んだ知識や技術は今も僕の中で輝き続けている



貴石彫刻オオヨリ・TO LABO
大寄智彦さん(平成11年卒)



水晶を使った大寄さんの作品。受け継いだ研磨技術と新しい発想が融合したジュエリーに仕上がっている

彫刻研磨を生業とする家に生まれ、宝石に囲まれた毎日を過ごしたため、高校卒業後ごく自然に宝石美術専門学校に入学。宝石・貴金属加工を学び、祖父・父の工房に入りました。

近年はジュエリー加工の仕事が増えています。今年2月にはブランドを立ち上げ、甲府の中心市街地にショップもオープン。自ら企画・デザインした商品を発信しています。

受け継いできた彫刻の技術を使いつつも、新しい発想でジュエリーを制作し、自ら販売するこの試みは、学校で得た幅広い知識があったからこそ可能になった挑戦です。

これからも、甲府が産地だった水晶と彫刻研磨の技術にこだわりつつ、時代に合った新製品を発信し、いずれは海外の一流産地と肩を並べたいと思っています。